

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192800074		
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	ヒューマンライフケア入間グループホーム		
所在地	埼玉県入間市宮前町9-2		
自己評価作成日	令和3年12月22日	評価結果市町村受理日	令和4年1月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php?action_kouhyou_pref_topiigvosyo_index=true
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユーズキャリア		
所在地	埼玉県熊谷市久下1702番地		
訪問調査日	令和4年1月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナの影響でボランティアや外部の方との交流の機会が無い。また、買い物の機会やご家族様との外食も無く、限られた空間での生活になっています。感染対策とのことで生活が窮屈に感じることが多いですが、施設内では季節の行事やレクリエーションを行っています。流しそうめんや餅つき、クリスマスにはカラオケ大会を行う予定です。コロナの影響で面会が出来ない時期が続きましたが、現在は玄関先で短時間であれば面会が出来るようになりました。また、電話でお話しをして頂く等、入居者様やご家族様が安心して頂くこともできました。行政の指導や会社のマニュアルを鑑みながら、施設として出来る柔軟な対応を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

西武池袋線入間駅北口から徒歩約14分、周りは静かな住宅地に囲まれた2階建て2ユニットのグループホームである。敷地内には家庭菜園があり、職員と入居者共に野菜を育てている。すぐ近くには公園があり、散歩に出掛けたりしている。コロナ禍の為、外出が満足に出来ない状況にあり、ホーム内でレクリエーションや食に絡めた季節の行事などを実施し、楽しんで頂けるよう、支援に努めている。感染予防のため、面会は玄関での対応にとどめて頂いているが、電話での会話の支援を行っており、家族に安心して頂いている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新規に就される職員の方がグループホームの理念が書かれた書類を提示し説明している。また、玄関近くに理念の掲示をしている。	グループホームのオープン時に職員全員で理念を考え、会議やミーティング時に振り返りを行っている。新入職員には理念について書面を提示し説明を行っている。理念は玄関近くに掲示している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの影響により外部の方の訪問は控えて頂いている。	自治会に入会しているがコロナ禍の為、行事には参加できていないが、廃品回収などは協力している。近くの公園に密にならないよう、少人数で散歩に出掛けたりしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナの影響により交流は図れていないが、廃品回収の協力や地域の助成金や寄付等行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議として集まることは行っていないが、ホームの状況報告書の配布と、はがきにてご家族様の意見や希望を募っている。	コロナ禍で外部の方の来訪を抑制している為、従来の会議は実施出来ていないが、2か月に1回、包括支援センター、自治会長、民生委員、家族宛にホームの状況報告書を配布し、意見や要望を募っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	転倒等事故報告を行い情報提供に努めている。市の独自サービスの手続きをご家族様が変わって行っている。	市からは介護保険やコロナ対策などについて、メール等で頻繁に情報の提供を頂いている。管理者は行政手続きなどで市役所を訪問し、担当者との協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人一人の行動の把握に努め、見守り声掛けを心がけている。身体拘束廃止会議を行っている。	3か月毎に身体拘束廃止会議を開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉掛けに対しても気をつけており、管理者は会議などの機会に話題にして注意を喚起している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様に対する言動や接しかたに職員の言動に注意を行っている。また、管理者研修(会社)においても研修を行い、各拠点で実施するよう指導を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後研修の実施を予定しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	予め契約に有する時間等説明し、ゆっくり丁寧に対応している。不明な点はないか、確認しながら行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様に関わることは、ご家族様に適宜電話やメールを行い了解を頂いている。また、運営推進会議のハガキにご意見を書く欄を設けている。ケアプランの説明や面会時に個別に対応している。	2ヵ月毎の運営推進会議に際し、近況報告を家族宛に送付し、返信ハガキで意見の吸い上げを行っている。また、面会時や電話を掛ける際にも意見や要望を伺っており、出された案件は検討し、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	あらかじめ年度計画を作成し、計画に沿って活動している。また、各階適宜ミーティングを開催している。必要時個別に話をする時間を設けるようしている。	会議やミーティング、実践の場にて職員より業務の見直しや提案など、活発に意見が出ている。管理者は内容について検討し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人の出勤状況、勤務態度、実績を把握し上長に報告している。また、個々の私的な事情をくみ取り勤務調整を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内のe-ランニングや研修を行っている。また、中途採用の方も多く最初はベテランの職員に担当してもらい業務はもちろん困りごと等聞く体制を持っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括主催の研修に参加し、交流を図っている。地域のネットワークづくりに参加している。(調整中)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お一人お一人の人柄を理解することに努め、表情や言動からも気持ちを察している。また、ご家族様からアドバイスを頂き、ケアに活かしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の際ご本人様やご家族様との面談を行い、ご希望や好み等お聞きしている。また、施設内の様子を説明し、安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にアセスメントを行い、ご入居様が望む生活をケアプランに活かしている。また、ご家族様に適宜ご様子の報告とアドバイスを頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係を構築し、屈託なく話し合える関係を築くようにしている。また、施設でのお手伝いをお願いし、役に立っていると感じて頂けるよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会が出来ない時期もあったが、電話で話をしたり、写真の提供や日頃の様子を伝える等、会えない不安感の軽減に努めている。また、ご本人様のお好きな食べ物の差し入れをお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響で外部の方との交流は控えて頂いている。状況が改善されれば、ご家族様との外出を再開したい。	コロナ禍の為、馴染みの人や場所に出掛けることが困難であり、電話の取次などの支援で関係が途切れないよう、努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員の配慮で皆で楽しめる話題を提案したり、レクリエーションを行う。また、入居者様同士のコミュニティを大切にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方も、必要時体調の変化がないか電話を入れている。また、入院中の方のお見舞いに出掛けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	元気に過ごされていた頃の様子をお聞きしその方の生活の意向に沿えるよう支援している。(可能な範囲ですが)	家族より趣味・趣向などを伺い、一人ひとりの思いや意向に沿えるよう努めており、その方に合った接し方を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人からの情報やご家族様からの情報、また、地域包括等利用して情報の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の中で、ご自身の生活パターンや出来る事出来ない事の把握に努めている。また、職員間でも適宜情報の交換を行い、ご自身の自立支援に活かしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアの振り返りを行い、適切なケアプランが実施出来たか確認している。カンファレンスを行い現状に合ったプランの作成に努めている。変化があればトピックス的に話し合い速やかに対応している。連絡ノートを活用し、ケアの変更等漏れの無いよう注意している。	ケアマネジャーが計画の原案を作成し、職員から意見をもらい、本人、家族の意向を取り入れ、よりよく暮らすための現状に合った計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やその他の生活に関わる記録を、漏れの無いように注意しながら記入している。気が付いたことや改善が必要なことはフロアーミーティングを行い介護実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	フロアーミーティングを開き検討し実現出来る様努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響により外部の方々との交流が図れていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	急変時は主治医や連携病院の受診が速やかに出来ており、適切な医療の提供が出来ている。往診医が月2回 訪問薬局週1回 訪問歯科週1回 来て頂いている。	現在全員が協力医療機関がかかりつけ医となっており、月2回の往診があり、急変時の医療連携もできており適切な医療が受けられるよう支援している。また、訪問歯科は週1回、訪問薬局が週1回あり、薬剤師より薬の副作用や家族持参のサプリメントについてなど、相談に乗って頂いている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康チェックを行い、ご入居様の変化があれば主治医に報告している。介護職員に必要なケアの説明や指導をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ソーシャルワーカーや看護師、リハビリスタッフとカンファレンスやアセスメントを行い、その方の即した対応をしている。必要時ナースサマリーを作成し病院にお渡ししている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様の意向により看取りをお一人致しました。訪問看護師の応援をもらいながら、穏やかに最後を迎えることができました。	ターミナルまでの支援を行っており、医師より十分な説明を行いながら対応をしている。介護職員に対し、看護師である管理者や訪問看護師による研修を行いチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの掲示を行っている。適宜報告連絡は出来ている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練や水害訓練を年2回行いました。コロナの件があり、施設内での訓練となりました。	年2回の防災及び水害訓練を実施している。水害訓練では垂直避難で2階にエレベーター移動し、時間を計測し書類なども運んだ。職員は訓練を通じ、避難方法を身に付けている。水や食料品の備蓄も行っている。	地震や水害訓練での方法や課題を検討し、地域との協力体制も含め、今後に生かしていくことを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケアの中にもご本人の意思を確認しながら実践している。また、その方の人柄やこれまでの社会的役割を知りコミュニケーションに活かしている。また、恥ずかしい思いをしない様、入浴や排泄の場面等プライバシーを保つことが出来る様注意している。	職員は誇りやプライバシーに配慮した声掛けを意識して取り組んでいる。入浴や排泄介助においても人格を尊重し、プライバシーを保つことに留意したケアを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	さりげない会話の中に意向や希望をお聞きすることが度々あり、実現可能なことは、できるようご家族様の協力をもらいながら行っている。(物の準備等)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務中心にならないよう、注意しながら支援している。また、ご自身の好きな事を理解し、レクリエーションや行事、日常の生活に活かしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の好みや趣味を尊重し、機能性だけを優先しない。訪問美容の方にも、ご自身の希望によりヘアカットをお願いしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭で食べる食事と同様の物を提供している。また、料理の盛り付けや片付け等おしゃれをしながら行っている。	家庭での食事を前提にしており、手作りのクリスマスケーキやたい焼きなど作って楽しんでいる。又、個々の嗜好にも対応しており、干し柿を注文し季節を感じて頂いている。盛り付けや片付けなど、出来る方には一緒に手伝って頂いている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	宅配業者より食材が届き、職員が調理をしている。個々の体格や性別、年齢、嚥下状況に応じて量や形態を調整している。一人一人水分摂取量を確認し、少ない方には声掛けを行っている。また、適宜ジュース等甘い飲み物をお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科が毎週金曜日に訪問している。その都度入居者様の状態やアドバイスを受けている。口腔体操や磨き直しを行い清潔を保つよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄状況を把握し、適切なオムツやパットを使用する様にしている。必要な方には見守り、声掛けにてトイレ誘導を行い、気持ちよく過ごしていただけるよう配慮している。	排泄チェック表で個々のパターンを掴み、トイレでの支援を原則としている。夜間は本人の意向を大切にされた対応を行っており、車椅子でトイレに誘導する方がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の間隔を把握し、水分の摂取を促したり、腹部のマッサージを行っている。必要時主治医に相談し頑固な便秘な方には内服による調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週に2回は入浴をして頂いている。皮膚の状態により清潔を保つため3回に増やしたり、排せつによる汚染の際シャワーを行う等清潔を保つよう支援している。また、入浴の際事前に声かけを行い了解を得て行っている。	入浴日は週2回、月～土曜迄に1日3名位(午前2名、午後1名)に分けて支援をしている。体調が悪かった方などは日曜に臨時で入って頂くこともあり、状況に応じて柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間はご本人の意志に任せている。ゆっくり休んで頂けるよう、おふとんの調整を行っている。なかなか寝付けない場合は、暖かい飲み物を提供したり、おしゃべりをしたりして様子を見ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用を理解し、確実に内服して頂けるよう工夫をしている。また、体調の変化に応じ看護師に報告し、適切な与薬に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の出来る事を把握し、お手伝いやレクリエーションのお手伝いをお願いしている。出来ない方もお話しが出来れば、話し相手になって頂き、一人で過ごすことが無いよう注意している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの影響で外に買い物に行けない。天気の良い日はお散歩程度になっている。	コロナ禍の為、以前のように外出が出来ない状況にあるが、感染防止に配慮し、近隣への散歩やドライブで花見に行ったりするなどの外出支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身のお金は金庫に管理しており、必要時お出ししている。コロナの影響で買い物に出かけることが出来ずお金を使う機会が減少している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご友人からはがきが定期的に届く方がいらっしゃる。速やかに届けるようにしている。また、ご家族様も必要があれば報告している。また、電話の取次ぎも必要があれば行う。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事の写真を貼っている。時期に合った飾りを行い季節感を感じて頂けるよう工夫をしている。清掃を行い清潔な環境を心がけている。また、廊下に椅子を置きつくりできる様している。	リビングには職員が作った松飾りが飾っており、廊下には行事の写真や季節感を演出した飾り付けを行っている。空調は適切に管理され、採光も充分にあり、明るい雰囲気となっており、廊下には椅子を置くなど、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の人柄や日頃の様子をみて、席を工夫している。廊下にベンチイスを置き静かな場所を確保をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の写真やテレビを設置して頂き、ご自身のお部屋としてゆっくりすごして頂けるよう支援している。馴染のある物を置いて頂き、安心して頂ける様工夫している。	一人ひとりが馴染みの家具やテレビ、家族写真などを持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。職員は床の掃除やドアノブ、サイドレールの消毒を行い、私物の整理は入居者と一緒に行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	整理整頓を心がけ、安心して過ごして頂けるよう支援している。また、ご自身で出来る清掃や片づけはお手伝いをお願いしている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	地震や水害訓練での方法や課題の検討、地域との協力体制について	行政や地域の方の理解や協力を得て安全な避難が出来る	訓練の際、消防から具体的なアドバイスを頂く。地域の防災訓練に参加するとともに施設の様子を理解し、災害の際は協力が頂けるように相談する	6か月
2					か月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。